# 南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和３年９月号
担当〔山田〕
NO.103

## わたしたちの根である祖父母

「聖ヨアキムと聖アンナ」と聞いてピンとくる方は少ないかもしれません。おふたりは，聖母マリア様のご両親であり，すなわちイエス様のおじいちゃんとおばあちゃんに当たる方々です。聖ヨアキムも聖アンナも聖書には一度も登場しませんが，カトリック教会では古くから尊敬の対象として大切にされてきました。

イエス様のご誕生の時，聖ヨアキムも聖アンナも存命だったというのが定説のようです。ヘロデ王から命を狙われたイエス様は，お生まれになってまもなくエジプトへ逃れたので，祖父母の愛情に触れることなく育ったと考えられます。聖ヨアキムと聖アンナにしても，たった一人の孫の成長を見ることなく，その生涯を終えたことだろうと思います。おふたりは，誕生したイエス様に一度でもお会いすることができたのだろうか。かわいい赤ちゃんイエス様をその腕に抱いてあやすことができたのだろうか。ついそんなことを考えてしまいます。

フランシスコ教皇様は，聖ヨアキムと聖アンナの記念日である７月２６日の正午の祈りの集いの中で，お年寄りを大切にするように全世界に呼びかけられました。コロナ禍の中で，何ヶ月も家族に会えず，家や施設で一人でいるお年寄りの寂しさは，マリア様やイエス様に会うこともできずに余生を過ごした聖ヨアキムと聖アンナの寂しさに通じるところがあるかもしれません。

南山小学校の中にも，おじいちゃんやおばあちゃんに会いたいのに会えないでいる子どもたちが多くいることでしょう。現代は核家族が当たり前で，三世代が同居している家族はほんの少数派です。家族間のかかわり，特に祖父母とのかかわりが希薄になっていく中，新型コロナウイルス感染症の流行は，その流れに追い打ちをかけています。

今は閉じられた施設の中で生活しているおじいちゃん，遠く離れて一人暮らしをしているおばあちゃんができるだけ寂しさを感じないですむように，希望をもって生きることができるように，電話やビデオ通話で話したり手紙を書いて送ったりなどしながらやさしさを届けているご家族も多いことだろうと思います。

フランシスコ教皇様は，聖ヨアキムと聖アンナの記念日に近い７月の第４日曜日を「祖父母と高齢者のための世界祈願日」に制定されました。日本では，９月の第３月曜日が「敬老の日」に定められています。７月の第４日曜日と９月の第３月曜日は特に，それ以外のいつでも祖父母や高齢者に目を向け，行動を起こし，彼らのために祈るようにしたいと思います。

今年の聖ヨアキムと聖アンナの記念日に，教皇様が若者に送られたメッセージの一部を紹介します。

**お年寄りたちは，みなさんのルーツです。根とつながっていない木は育つことができません。花も咲かず，実もなりません。それゆえに，みなさんにとって，自分たちの根と一致し，つながっていることが大切です。『木が咲かせる花は，地中にあるものから来る』とわたしの祖国（アルゼンチン）の詩人は言います。こうしたことから，わたしたちのすべての祖父母たちに，大きな拍手を送るよう，みなさんをお招きします。**

## 親孝行の日　9月28日

「孝は百行の本なり」は，中国に古くから伝わることわざで，「親孝行は，すべての善行の基本である」という意味だそうです。日本にも親孝行に関することわざはいくつかありますが，肝腎の親孝行という言葉自体が，最近はあまり使われなくなっているように感じます。実際，子どもたちに聞いても，その意味を「知らない」と答える子も多くいます。

南山小学校では，「親孝行の日」をぜひ設けたいと考えて，数年前から取り組んでいます。「こどもの日」「母の日」「父の日」があるように，一年間に一度くらいは親孝行についてふり返る機会を設け，子どもたちにも具体的に実践してもらいたいと考えたわけです。

「親孝行の日」は，９月 28 日にしています。事あるごとに「ファミリー」や「家庭の平和」を口にされていた創立者のウイゼン神父様の誕生日が９月 28 日であり，また，ご自分のモットーとして隣人愛を特に大切にされていた２代目学園長の川上進神父様の誕生日も偶然にも同じ９月２８日だったからです。

創立者と２代目学園長おふたりの精神を大切に引き継いでいくため，そして何よりも親子の絆がますます深まることを願って，南山小学校では，これからも「親孝行の日」を大切にしていきたいと考えています。

「親孝行の日」に孝行の形をどのように表すかは各クラスで話し合って決め準備を進めるように呼びかけています。

・似顔絵を描いてプレゼントする。
・日頃の感謝を込めて手紙を書く。
・心のこもったプレゼントを贈る。
・お手伝い券を作って用意する。

など，子どもたちの表す孝行を楽しみにお待ちください。

## ♧♧ 教室紹介 ♧♧

**４年１組　担任　中島　奈津美 先生**

「チャレンジ」がクラスのモットー。難しいな，できるかなということにも，失敗を恐れないで，まずはやってみること，挑戦してみることを大切にして頑張っています。時には，互いに衝突したり約束を守れなかったりすることもありますが，それでも中学年らしい仲間意識と，持ち前の笑顔と元気さでいろんな問題を乗り越えているパワー溢れる仲間たちです。

理科の学習も大好きな４年１組の子どもたち。水やりや雑草取りなどのお世話をしながら育ててきたツルレイシはたくさんの実を付け，収穫の喜びを味わうことができました。オタマジャクシやカエル，カブトムシ，クワガタなど教室でも生き物を大切に育ててきました。虫が苦手だった子たちも観察をしたり餌をあげたりしながら関わる中で，生き物に親しみ，小さな命を大切に思う気持ちが育ってきました。カブトムシの卵は，今，手のひらくらいの大きさの幼虫に成長しています。自然や生き物と関わる中で驚きや発見をくり返し，大きく成長している子どもたちです。

### ♪わたしをお使いください（マザー・テレサの祈り）

１．主よ　きょう　いちにち
まずしい人や　病んでいる人々を
たすけるために
わたしの手を　おのぞみでしたら
きょう　わたしの　この手を
お使いください

２．主よ　きょう　いちにち
友をもとめる　小さな人々を
おとずれるために
わたしの足を　おのぞみでしたら
きょう　わたしの　この足を
お使いください